

## 令和4年度第2回多治見市生活支援体制整備推進会議議事録

日 時：令和4年11月8日（火）

10：00～11：40

場 所：多治見市役所 駅北庁舎4階大ホール

- 出席： 高木浩二会長、浅野みな子副会長、竹内寛委員、林計男委員、加藤六美委員、水野貫二委員、林正勝委員、若尾卓男委員、伴野義久委員、松村三千代委員、浅井朋子委員、吉川幹委員、田中信次委員、森内佐和子委員、西山知広委員、関谷早苗様（羽根田真理子委員の代理）、水野磨意子委員、村田志野委員、水野千鶴子委員、中村みさ子委員（順不同）
- 欠席： 吉井よしみ委員、大中博委員
- 事務局： 加藤福祉部長、加藤高齢福祉課長、三宅高齢者支援グループリーダー、藤井第2層生活支援コーディネーター、山田第2層生活支援コーディネーター、高齢福祉課水野

- 事務局 | ただいまから令和4年度第2回生活支援体制整備推進会議を開会します。本日は、大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。はじめに、福祉部長の加藤からご挨拶申し上げます。
- 福祉部長 | ～あいさつ及びかさはらお役立ちマップの紹介～
- 事務局 | 本日、吉井よしみ委員と大中博委員が欠席、また、滝呂包括支援センターの羽根田真理子委員の代わりに関谷早苗様に出席いただいておりますので、報告します。  
初めに、資料の確認をいたします。
- ① 座席表
  - ② 次第
  - ③ 委員名簿
  - ④ 資料1-1 第1層生活支援コーディネーターの活動について
  - ⑤ 資料1-2 生活応援員フォローアップ講座アンケート回答まとめ
  - ⑥ 資料2 第2層生活支援コーディネーターの活動について
- また、グループごとに「グループ討議 概要報告用紙」を、すべて本日も机上に配付させていただいておりますのでご確認ください。
- 次に、本日の会議は、多治見市情報公開条例に基づいて公開とさせていただきます。また、議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認をいただいてから、委員名を伏せてホームページで公開させていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1時間30分を目処に会議の終了を予定しておりますので、ご了承ください。

事務局からの連絡は以上となります。

会長                    それではまず、次第1「第1層・第2層生活支援コーディネーターの活動について」ですが、それぞれコーディネーターから説明願います。

第1層コーディネーター    ～資料1-1に基づき、第1層生活支援コーディネーターの活動について  
資料1-2に基づき、生活応援員フォローアップ講座アンケート回答まとめについて説明～

第2層コーディネーター    ～資料2-2に基づき、第2層生活支援コーディネーターの活動について  
説明～

会長                    第1層・第2層生活支援コーディネーターの活動について、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

～意見なし～

会長                    次に、次第2「地域課題に関する意見交換」を行います。6月に開催しました第1回会議において、今回からはグループ討議を行うことと決定していますが、その前にどうしても委員の皆さんに伝えたい、質問したいということがあれば、挙手願います。

～意見なし～

会長                    それでは、グループ討議の進行について、事務局から説明します。

事務局                    それでは、グループ討議の進め方について説明いたします。  
今期の生活支援体制整備推進会議では、ボランティア活動等の「担い手の発掘」、「参加に導くためのきっかけづくり」をテーマとし、議論を進めていただきます。

包括支援センター、社会福祉協議会、シルバー人材センターなど関係機関から選出の委員さんは、「あそこの団体でこんな話を聞いたよ。」「うちの町内会やPTAの役員はこうだよ」など、見た話、聞いた話で結構ですので情報提供をしていただければと思います。

最初の5分間で司会進行、発表者を決定していただきます。

書記は、包括支援センターから選出の委員さんでお願いします。

書記の方は、発表者の方が発表しやすいように、グループごとの報告用紙をご記入いただきたいと思います。

この報告書は、発表後に提出していただき、会議録の確認時や次回の会議に印刷して皆さんに配付いたします。

その後、20分間で「所属団体のボランティアの加入・脱退状況や町内会・PTA役員の選出事情について」を中心に進めていただき、後半20分で「皆さんが現活動を始められたきっかけ」、「活動の中でうれしかったこと」、「活動の中で困ったこと」を中心に討議を進めていただきたいと思います。

その後、11時10分くらいから1グループ2分をめぐりに討議内容を発表していただきます。ご質問があればお伺いします。

～質問なし～

事務局

これより、5分間でグループリーダー、発表者を決定していただきたいと思います。早く決まったら先に進めていただいて構いません。

コーディネーターや事務局がグループを移動し、討議を聞かせていただきますが、ご了承願います。

～グループ討議～

会長

それでは、1グループ2分ほどで発表していただきます。質問は全グループ発表後にお受けします。1グループからお願いします。

委員

報告書にはたくさん記録されていますが、感覚的に発表します。話し合ったことの一つは、ボランティアは、他人のためにするものではないということです。自分が動くことで自分以外の人喜んでくれて、喜んでくれた姿を見たり聞いたりすることで自分の心も嬉しくなるから、ボランティアというのは、他人のためにするものではなく、自分のためにするものと考え、十数年間活動してきました。その考え方を他人に押し付けるつもりはないですが、少しでも同調してくださる方が百数十名あまり、私に協力して活動してくださっています。

ボランティアというのは、他人のためにするものではなく、自分のためにするものということを理解できる人が本当のボランティアだと思っています。

委員

長くボランティアを続けられてきた方と、若い方ではボランティアに対

する定義が違ってきているのではないかという意見がありました。有償ボランティアという考え方も出てきて、ボランティアとして何をやるのか明確にし、それに基づいて人を集めないと、人を集めにくくなってきています。また、高齢になって活動から離れていく方もあるようです。

人財の獲得に向けての工夫としては、自治会やPTAの役員をやられた方がボランティアにつなげやすいため、そのような方に声をかけたり、フリーマーケットなどのイベントに協賛してくれた若い人に声をかけたりしてつなげていくこともあるようです。

活動を始めたきっかけについては、学校の役員を受けたことや、地域の中でやってみたいことがあったという意見が出されました。

活動の中でうれしかったことについては、子どもと一緒にいられること、他人とつながれること、コミュニケーションを図れること、感謝してもらえることが挙げられました。

困ったことは、せっかく集まった人がコロナの影響で離れて行ってしまい、人を集め直さなければならなくなったという意見がありました。

委員

特に小泉地域の住民主体サービスとしては、まだ具体的な活動を行っておらず、テスト段階で取り組んでみたところ。市之倉地域の住民主体サービスについても今後検討されていかれるということで、具体的な活動を行っておられない状況です。

ボランティア団体への加入については、普段福祉という存在が遠い世界だと感じていて、自分の家族の中に障がい者や高齢者を抱えると福祉に興味を持って参加してもらえないのではないかという意見がありました。

非常に残念なことですが、最近役員が回ってくるのが嫌だから町内会を脱退するという家庭が多くなってきています。そのような方は順番を飛ばして役員を回すような対応もできるのではないかと考えています。

活動を始めたきっかけについては、福祉って何だろうということから、頼む人も頼まれる人も満足できることを探すと、その中で福祉活動が広がっていくのではないかという意見がありました。

活動の中でうれしかったことについては、感謝されたり、助かったと言われたりしたこと。活動の中で困ったことについては、ボランティアを束ねていくコーディネーター的な人がいないこと。ボランティアの中でコーディネーター的な人が育ってくると地域に根ざした活動になってくるのではないかという意見が出されました。

委員

ボランティアの人数について、どこの地域でも古くから関わっている方が続けていて、そのまま固定化し、今では70代のボランティアがほとんどになってしまったため、取り組むのが難しい事業も出てきたということで

す。どこの地域でも次の人を探す努力をいろいろされています。笠原町では、町内会などの都度チラシを出して募集してみえるそうですが、それが担い手集めにつながらないということでした。

活動に行った先で「ありがとう」と言われること、自分がこういう年齢になったときにあるといいなと思うこと、ボランティアのあり方を考えることで意識が変わってくるという意見があった一方で、若い人や現役で働いている方にはそういうことを伝えても実感として湧かないため、なかなかつながっていかないのではないかという意見もありました。

また、地域福祉協議会のように何でも相談できる場所があるということがすごいメリットで、極端な話、たとえイノシシの話であっても、話ができる場所があるということが拠り所になるため、今後地域福祉協議会の発展も大事かと思えます。

おたがいさま東部などの有償ボランティアのグループでは、1か所へ行くともあれもこれもと頼まれるが、一方でなかなかボランティアのなり手が少ないそうです。ボランティアのなり手が少ないことが一番の課題になっています。

会長

質問がある方は挙手願います。

会長

本日の議論を踏まえて次回もグループ討議を行います。

最後に、次回の会議開催ですが、2月3日（金）を予定しております。開催の1月ほど前にご案内させていただきます。

本日の議題は以上となります。これをもちまして令和4年度第2回多治見市生活支援体制整備推進会議を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。